

ID: =患者情報!B1		(非小細胞肺癌 nab-PTX) 療法										施行日		クール																					
患者氏名		=患者情報!B2		殿		入院/外来		入力日		年		月		日																					
年齢 性別		=患者情報!B6		=患者情報!B7		=患者情報!B8		開始日		年		月		日																					
疾患名		非小細胞肺癌						開始日		年		月		日																					
クール		アブラキサン : 毎週投与 (Day1,8,15) ※アブラキサン3週連続投与を1クールとする。						診療科																											
適応基準		☐ 1st Line ☒ 2nd Line ☒ 3rd Line以降 ☐ 術前 ☐ 術後補助 ☒ 進行 ☒ 再発						告知の有無		P S		同意書取得		☐ 済																					
				身長		cm		体重		kg		体表面積		0.00 m ²																					
薬品名		単位		薬品名		単位		血液製剤に関する説明と同意書		☐ 済		外来 化療 加算		☒ A ☐ B ☐ 対象外																					
アブラキサン 100 (PTX:アルブミン懸濁型)		☒ mg/m ² ☐ mg/body																																	
重要		B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。										☐ HBs抗原 ☐ HBs抗体 ☐ HBc抗体																							
レジメン内容																																			
順番		医薬品名				投与量		投与部位		投与スケジュール																									
①		デキサート注 (3.3mg)				6.6mg		D.I.V		15分																									
		生理食塩水 (50mL)				1瓶																													
②		アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)				mg		D.I.V		30分																									
		生食液 (100mL) ※				100mL																													
		※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注																																	
血漿分画製剤のため、ロット番号の記録および保存が必要です。																																			
調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照 1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。																																			
インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。																																			
<table><tr><td>1-①</td><td>1-②</td><td>1-③</td><td>2-①</td><td>2-②</td><td>2-③</td></tr><tr><td>Day</td><td>1</td><td>8</td><td>15</td><td>22</td><td>29</td><td>36 ...</td></tr><tr><td>アブラキサン</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td><td>↓</td></tr></table>										1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	2-③	Day	1	8	15	22	29	36 ...	アブラキサン	↓	↓	↓	↓	↓	↓	確認者		監査者			
1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	2-③																														
Day	1	8	15	22	29	36 ...																													
アブラキサン	↓	↓	↓	↓	↓	↓																													
注意事項など																																			
【払出し～回収まで】 ①Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入＋シール貼付する。 ※事前準備はしない ②注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー) 棚へ ③看護部側へは、注射箋・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す) ④看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。 ⑤薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り) 棚」に入れる。																																			